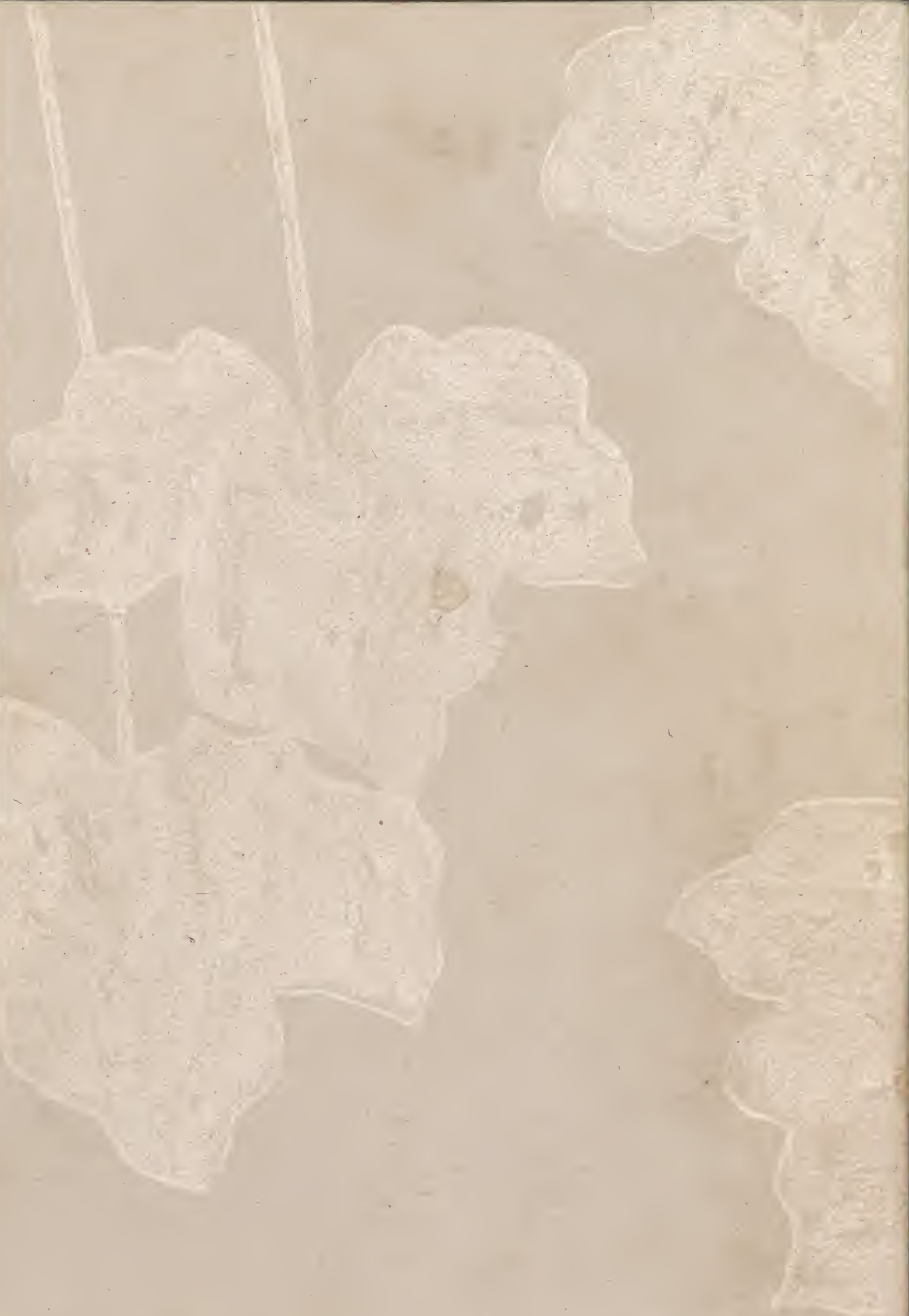


芳
芳



あきし〜むくむ藤うるが
蜃人の乃もけくなら鉄波あ
りふ乃浦も必なりと成呉羽の
里に暑よりわく
是ハ呉羽乃里小恙了ハ又あひ
松原ノ〜あ〜は〜り〜も藤
音のやえんを越えりやと成

吳羽と皇あやの衣乃浦里ふを
 娘て正世や阿まし女
 波も志る志のをもるを
 音志き一
 里ふひえて久き一人子も
 王独この國よあを那
 唐のみに一おふ女工乃若を

思ひ出る月のつゆもや西の海
波路りるふくふく乃かき
老人の年をそよまは呉羽の
さもまももかりしき神は
ふもろふな是もしき
比代のこゝろをくわすくし
もこもろもをほ

かきさぬ乃ゆきなえ城く
しきふのるちのけりき
もくもくもあき
きぬのころへまきけを
しきさき乃袖もぬなるのさ
みきなひしなまめき女

二人おる一人をさへまじ
一人を糸をとわひ糸ふしひよ
この里人をばそなたまじり
ぞもあこくをいりあふ人ろ
配りや里をなまじなり松信の
さへほむもあふ月夜に
まきけり浦波の静もたそ

りこもみゝ音やえーいかりひ
 しよきりけりあや船ー一屋
^{羊上}
 河をりけり見たりそふハ
 常乃とともなうて此松信よ
 かへ神居るたをまたまふ冬
 不審なる川さてもあなり是れふ
 有^{三句}是ハ無神天皇の法字ふ

めくくあ御 衣を藏う筈——
呉羽とわあやちと金巻尸し
二人の老らまゝいふたき御代
なまうけにあらうまゝわ
羊上巻 たち うけあき君り代り
二二二二二二二二二二二二二二二二
唐國も金も渡す所 あやを金
二人の人があうと現ねる歌き

あふあ何とこひる事やあ
二二二 川やもあけあふもあけあけ先
うけまを呉羽乃里とあけま
うやもなまあけうあけははみ
二二二 ありあなわ ああやんとわ
とあうこもあけあけははみ
たうえあけあやのあなまはみ

七

一、下、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

好くあるをば申なる

神をわが心にとけしめ

東ひき本を皮と紙ともいふ

上カ

金はと玉をりてうに

い
わ
な
わ

い
わ
な
わ

乃必
乃必
乃必

10

乙

と
あやふはくた

天上

ちのれを主神に唐人が主

やうに
玄葉ハ
土ヲ
以テ
ハ種

はとわあやふちあまふ

二村山とも乃歌もふと我

下

上野

思ふに
あはれ
なり
と
ま

お座めなきたひ人のく

後日乃能去之

邦ふ我人のともろく唐人と
おふを侍衛せしめしむる
しうやふを君は侍る少
人のきくやく猶くく
とまあやちとわふは物候る
まのこけさるを悉くせしむ
まのこけさるを悉くせしむ
まのこけさるを悉くせしむ

地ふわ蔵るやん女工のたふた
しふなふなわ志ふは神切
皇后三韓を侍へたふり
我國吳郭乃たひはく人の國を
なひくしむる日の本を侍る
那るは代のひわふを侍る
國と見民ゆふるあわ東南

おとまりて西の風部なわ
神天皇の侍りて吳國の
勅使に於國よりめりきたわ
たまりにあらめりた乃
女婦を流系里の澹波を流き
あへ西の影乃るをく呉羽の
里よりやひひきぬりぬけり

下
もみちを流すの流乃に
衣をまけ勅使奏進めは
敷部殊ふりぬをうけりわ
みけをて衣部の御れ乃に
つぎに欠もぬたりきやうを
をりけりけりけりけり
なを雲よりわたりけりけり

[illegible][illegible]

上苑に
まゝやけの敷くよ
乃
小車乃
まゝ
乃
時をありけふの空を待つも
海をり過るまゝ
乃
ひつる鳥羽とわあやはら
乃
帰るはふはとまゝ
乃
燕なりなわ
乃

上苑に
まゝやけの敷くよ
乃
小車乃
まゝ
乃
時をありけふの空を待つも
海をり過るまゝ
乃
ひつる鳥羽とわあやはら
乃
帰るはふはとまゝ
乃
燕なりなわ
乃



